

平成 29 年(2017 年)1 月 31 日

豊中市長

浅利 敬一郎 様

豊中市総合計画審議会

会長 加藤 晃規

第 4 次豊中市総合計画基本構想（素案）について（答申）

平成 28 年(2016 年)9 月 20 日に本審議会に諮問された、第 4 次豊中市総合計画基本構想（素案）について、審議結果を別紙のとおり答申します。

**第4次豊中市総合計画
基本構想(素案)について**

(答 申)

平成 29 年(2017 年)1 月

豊中市総合計画審議会

目次

I. 答申にあたって	1
II. 第4次豊中市総合計画基本構想（素案）への意見	2
III. 審議経過・審議会委員	4

<参考資料>

- 第4次豊中市総合計画基本構想（素案）

Ⅰ. 答申にあたって

豊中市は、昭和44年（1969年）に、市として初めてとなる総合計画を策定して以来、市民ニーズや時代の変化に対応した総合計画を策定しながら、まちづくりを進めてきました。その結果、豊中市は、北摂都市の中でも良好な住宅都市としての価値を築き、多くの市民に愛されるまちへと発展してきました。

現在、豊中市は、平成32年度（2020年度）を目標年度とする「第3次豊中市総合計画」を進めている一方で、少子高齢化やライフスタイルの変化への対応など、行政課題が複雑多様化してきています。また、グローバル化や情報技術の進展等により、社会環境の変化もこれまで以上に速くなってきています。

豊中市では、こうした課題に対応していくために、「第3次豊中市総合計画」の見直しを進めており、この度、平成28年（2016年）9月20日付で、浅利市長から当審議会に対し、基本構想（素案）についての諮問がなされました。

当審議会では、限られた時間のもと、基本構想の根幹となる「まちの将来像」と「施策大綱」について、集中的かつ精力的に審議を行いました。

審議においては、豊中市の現状や課題をいかに市民や事業者の方と共有していくのか、まちの将来像として掲げる趣旨をどのように定義づけしていくのかに主眼を置きながら意見を取りまとめました。

基本構想の策定にあたっては、当審議会の意見を十分に踏まえ検討していただくことをお願いするものであります。

平成29年（2017年）1月31日

豊中市総合計画審議会

会長 加藤 晃規

II. 第4次豊中市総合計画基本構想(素案)への意見

当審議会は、豊中市が進める新しい総合計画の策定に向け、「子育て・子育て、教育環境の充実」、「安全・安心の確保」、「都市の活力と快適性の向上」、「健康な暮らしと活躍できる社会の構築」、「持続可能な市政運営の推進」の課題や社会環境の変化に対応できる基本構想となるよう、調査審議を行いました。

社会環境の変化がこれまで以上に早くなっている中、基本構想(素案)では、計画期間の見直しや、想定する将来人口の位置付けを基本構想から基本計画に変更するなど、工夫がなされています。

成案化にあたっては、これまでの総合計画の過程を踏まえた豊中市らしい将来像が描かれているか、より市民・事業者と課題を共有し、共に進める内容となっているか、という視点で審議しました。

審議結果を以下のとおりとりまとめ、意見として申し述べます。

◆豊中市の課題について(第3章関連)

1	過去10年の財政状況の変化と今後10年を見据えて、課題を設定する必要がある。
---	--

◆まちの将来像について(第4章関連)

1	「(案1) 未来創造都市 とよなか ～明日がもっと楽しみなまち～」は、成長路線的な意味合いを含んでおり、これまでの各総合計画の方向性を考えると、当案が望ましい。
2	まちの将来像を「未来創造都市 とよなか ～明日がもっと楽しみなまち～」にするならば、次の点を明確にし、分かりやすく示す必要がある。 ①課題や豊中らしさを踏まえた創造都市の姿を示す必要がある。 ②創造都市になることで、豊中市がどう変化するのか示す必要がある。
3	創造都市をめざしていくには、市民や企業など多様な主体の協働によるまちづくりを進める必要がある。

◆施策大綱について（第5章関連）

1	市の様々な課題、特に厳しくなると想定される財政状況の課題を、市民の方と共有して、取組みを進める必要がある。
2	「選択と集中」による戦略的・戦術的な取組みで、多くの人に豊中を選んでもらう必要がある。
3	子どもから高齢者まで、全ての人がまちづくりの主体として活躍できるような施策展開が必要である。
4	市単独ではなく、多様な主体の力を活用して施策を推進することを考える必要がある。
5	北摂地域全体で協働した取組みも必要である。また、大阪国際空港があることを活かし、大きな視点で広域連携を考えることも必要である。

Ⅲ. 審議経過・審議会委員

◆ 審議経過

回	開催日程	内容
第1回	平成28年(2016年) 9月20日(火)	第4次総合計画基本構想(素案)の諮問 ・第4次総合計画基本構想(素案)について
第2回	10月4日(火)	・第4次総合計画基本構想(素案)について
第3回	11月22日(火)	・第4次総合計画基本構想(素案)の修正について ・答申案について

◆ 審議会委員

会長◎・職務代理者○ (区分順・敬称略)

	区分	所属等	名前
1	学識経験者	関西学院大学 名誉教授	◎ 加藤 晃規
2		関西大学文学部教育文化専修 教授	○ 赤尾 勝己
3		大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授	赤井 伸郎
4		豊中商工会議所 名誉会頭	國貞 眞司
5		大阪大学大学院人間科学研究科 教授	斉藤 弥生
6		関西学院大学総合政策学部 准教授	宗前 清貞
7	公募市民		大澤 嘉騎
8			廣瀬 淳
9			廣瀬 史朗